

箕面市支援教育方針に基づく取組の進捗確認について — 既存の取組と保護者・教職員の意見を踏まえた検討資料 —

1. 本日の協議事項
2. 昨年度末資料から見える方向性
3. 進捗確認の5つの柱
4. 第2回・第3回で確認すること

令和8年7月17日
令和8年度第1回箕面市支援教育充実検討委員会

1 検討全体の流れ

視点	昨年度末資料から見えること	支援教育の充実に向けて
第1回	現行方針に基づく取組の進捗確認	進捗確認の方向性・5つの柱・意見聴取を確認
意見聴取	保護者・教職員アンケート	主な傾向を把握
第2回	アンケート結果の共有と重点整理案（素案）の検討	市全体の主な傾向と進捗確認を踏まえて整理
第3回	重点整理案の確認と資料化	学校で使える確認観点・資料案を整理

【進め方について】

既存の取組を整理し、保護者・教職員の意見を踏まえて検討する。

1 昨年度末資料から見える方向性

視点	昨年度末資料から見えること	支援教育の充実に向けて
個別の支援	実態把握、個別の教育支援計画・個別の指導計画、合理的配慮等をつなぐ取組が進んでいる。	個別の教育支援計画・個別の指導計画を、日々の指導や自立活動に生かす
学校全体の支援	多様な子どもがいることを前提に、授業や環境を見直す取組が進んでいる。	通常の学級を含めた学校全体の支援として整理する
検証	子どもの強さや困難さ、教職員の活用状況、学校の取組を把握する方向性が示されている。	アンケート結果と進捗確認を第2回で集約し、重点整理案（素案）として整理する

【進捗の方向性】

個別の支援と学校全体の支援をつなぎ、データと意見をもとに検討する。

2 これまでの取組を、次年度の充実につなげる

第1回では、これまでの取組が子どもの支援につながっているかを確認する

1 子どもの様子を知る

- ・ 得意なこと
- ・ 困っていること
- ・ 必要な支援

2 支援を考えて行う

- ・ 個別の教育支援計画
- ・ 個別の指導計画
- ・ 分かりやすい授業
- ・ 安心できる環境
- ・ 合理的配慮

3 取組を振り返る

- ・ 子どもの変化
- ・ 保護者の声
- ・ 教職員の気付き
- ・ よかった点と課題

4 次年度に生かす

- ・ 続けること
- ・ 見直すこと
- ・ 学校で確認すること
- ・ 重点にすること

見るポイント：取組のつながり、足りない視点、次年度に大切にすること

【第1回の確認事項】

これまでの取組を確認し、次年度に大切にすることを整理する。

3 専門的助言を学校全体の取組としてどう整理するか インクルーシブ教育を学校全体の取組として進める

主な取組	進捗確認への接続
モデル校での実践	通常の学級を含めた授業・環境・支援体制を見直す
肯定的な行動支援	学校全体で予防的・組織的な支援を進める
個別性の高い支援への助言	個別性の高い支援を、校内体制とつなげて検討する
子どもの状況把握	子どもの強さや困難さを把握し、学校の取組改善に生かす

【特に生かしたいこと】

個別の支援だけでなく、授業・環境・学校文化を含めて、支援教育を学校全体の取組として整理する。

4 検証と意見聴取の位置付け

把握する内容	方法	生かし方
子どもの状況	子どもの強さと困難さアンケート(SDQ)など	学校全体の支援体制や研修内容の進捗
教職員の実感	教職員アンケート	校内支援体制、計画作成、自立活動の課題整理
保護者の実感	保護者アンケート	説明の分かりやすさ、相談しやすさの改善
学校の取組状況	既存資料、訪問、実践共有	好事例を整理し、次年度の支援につなげる

【特に生かしたいこと】

データは児童生徒や学校を評価・比較するためではなく、必要な支援を早期に把握し、改善につなげるために活用する。

1 進捗確認の5つの柱

1

【学びの場をつなぐ支援】

通常の学級・通級による指導・支援学級を連続性のある支援として整理

2

【通常の学級の支援充実】

授業づくり、環境の調整、合理的配慮、肯定的な行動支援

3

【支援学級・通級による指導の役割整理】

特別の教育課程、通級による指導、通常の学級とのつながり

4

【自立活動を含む教育課程】

実態把握、目標、指導内容、評価、交流及び共同学習

5

【データ・意見による改善】

アンケート結果と進捗確認の集約、重点整理案（素案）、検証、説明

【第1回の到達点】

5つの柱の妥当性を確認し、第2回で示すアンケート結果と重点整理案（素案）の構成につなげる。

2 柱① 学びの場をつなぐ支援のあり方

学びの場が変わっても支援が途切れないように整理する

整理したいこと	協議の視点
• 通常の学級、通級による指導、支援学級の連続性 • 個別の教育支援計画、個別の指導計画を活用した引継ぎ • 保護者への分かりやすい説明	• 学びの場の見直しをどの時期に確認するか • 支援内容をどの資料で共有するか • 保護者が不安を感じやすい点は何か

【第1回の確認事項】

学びの場が変わっても、支援が途切れない考え方を今後の重点として整理する。

3 柱② 通常の学級における支援の充実

すべての学級で支援教育の視点を生かす

整理したいこと	協議の視点
・ 見通しの提示、視覚的支援、選択肢 ・ 合理的配慮と環境調整 ・ 担任だけに委ねない校内支援	・ 学校全体で共通して取り組む支援は何か ・ 個別的・専門的な支援との境目をどのように整理するか ・ 授業改善と支援教育をどのようにつなげるか

【第1回の確認事項】

通常の学級における支援を、支援教育の中心的な取組として整理する。

4 柱③ 支援学級・通級による指導の役割整理

必要な支援が適切に届くよう、役割とつながりを分かりやすく示す

整理したいこと	協議の視点
- 支援学級における特別の教育課程 - 通級による指導と通常の学級とのつながり - 交流及び共同学習の目的の明確化	支援学級及び通級による指導における特別の教育課程の進め方

【第1回の確認事項】

支援学級及び通級による指導における特別の教育課程の進め方について、確認する。

5

柱④ 自立活動を含む特別の教育課程の充実

実態把握に基づき、目標・指導内容・評価を少しずつ整理する

整理したいこと	協議の視点
- 実態把握に基づく目標設定 - 教科の補充との違いの整理 - 交流及び共同学習、通常の学級とのつながり	- 個別の教育支援計画・個別の指導計画をどう生かすか - 簡易確認シートに何を入れるか - 学校が着実に確認できる観点は何か

【第1回の確認事項】

自立活動を含む特別の教育課程の質を、既存資料を生かして確認する。

6 柱⑤ データと意見に基づく検証・説明

結果を分かりやすく整理し、支援改善と説明につなげる

整理したいこと	協議の視点
- 保護者・教職員アンケート結果の集約 - 子どもの状況把握と学校の取組状況 - 重点整理案（素案）への反映	- 第2回でどう素案に反映するか - 次年度の重点や説明資料にどうつなげるか

【第1回の確認事項】

収集したデータや意見を、次年度の支援改善と説明につなげる。

7

保護者・教職員への意見聴取

取組の改善に向けて、学校での支援をよりよくするための論点を確認する

対象	主に確認すること	第2回での取り扱い
保護者	学校での支援や配慮、相談しやすさ、説明の分かりやすさ、子どもに育ってほしい力	回答傾向と自由記述の要旨を整理し、素案に反映
教職員	校内支援体制、通常の学級の支援、特別の教育課程、自立活動、個別の教育支援計画・個別の指導計画の活用	実施するうえでの課題、必要な資料、次年度取り組んでいきたい内容を整理し、素案に反映

【意見聴取について】

自由記述は、要旨化して整理する。

確認事項	内容
①進捗の方向性	現行方針に基づく取組を、次年度の重点整理につなげる方向でよいか
②5つの柱	第2回以降の資料を、5つの柱に沿って構成してよいか
③意見聴取と第2回の進め方	保護者・教職員アンケートの結果を集約し、進捗確認を踏まえた重点整理案（素案）につなげてよいか

第1回では、個別の取組の評価ではなく、「進捗の方向性」「5つの柱」「意見聴取と第2回の進め方」を確認する。

1

第2回の展開：結果共有と重点整理案（素案）検討

扱う資料	内容	確認したいこと
結果概要	選択式回答の集計、主な傾向、自由記述の要旨	分かりやすい整理になっているか
論点整理	回答と進捗確認から見える課題、充実が求められる内容	次年度の重点整理につながる論点が明確か
重点整理案（素案）	5つの柱に沿った重点整理案（素案）	保護者・教職員の声を踏まえた内容になっているか
資料案	個人及び学校が特定されない形の資料	表現、自由記述等の扱いが適切か

【第2回の到達点】

アンケート結果及び進捗確認を踏まえ、次年度の重点整理案（素案）を確認する。

2 第3回の展開：重点整理案の確認と資料化

第3回で確認すること	具体的な内容
進捗確認のまとめ	第1回・第2回の協議、アンケート結果、重点整理案（素案）を踏まえた主な論点を確認する
特別の教育課程の充実	自立活動など、個別の教育支援計画・個別の指導計画や校内支援委員会で確認できる形にする
学校向け資料	A4 1枚程度の簡易確認シート等で確認する
周知と検証	校長会、教頭会、支援教育担当者会などで共有し、好事例を次年度に生かす

【第3回の到達点】

学校が、次年度から着実に取り組むことができる観点を共有し、進捗確認を学校支援につなげる。

今回の進捗確認で大切にすること

方向性	内容
既存の取組を生かす	実態把握、個別の教育支援計画・個別の指導計画、学校全体の取組、データ活用をつなげて整理する
保護者・教職員の声を踏まえる	第2回でアンケート結果と進捗確認を踏まえ、重点整理案（素案）として確認する
自立活動を含む特別の教育課程を充実する	自立活動を含む特別の教育課程の充実に向け、個別の教育支援計画・個別の指導計画等を生かした確認観点を整理する
学校で活用できる形にする	学校向け概要版や、簡易確認シート等の作成を検討する

【第1回】

「進捗の方向性」「5つの柱」
「意見聴取と第2回の進め方」を確認

【第2回・第3回】

これらを具体化する